

2023年度

出張講義一覧

保健看護学科ー1

講義テーマ	講義内容	分野
看護職のための臨床薬理学「末梢神経系作用薬」	患者さんを看護する際、薬の作用を理解することで、起こりうる副作用を予測し、副作用や転倒などのアクシデントを未然に防ぐことができます。また、薬による治療効果を最大限活かすような看護の実践も可能となります。より良い看護をするために、臨床で用いられる薬の作用について学ぶ科目が「臨床薬理学」です。この講義では、末梢神経系に作用する薬について説明します。	看護保健系 (看護師)
看護の対象者の観察とバイタルサイン測定	看護にとって対象者の観察と観察から得られる情報は非常に重要です。最も基本的な観察内容として体温、脈拍、血圧、呼吸、意識状態があり、これらは「バイタルサイン：生命の徴候」と呼ばれています。バイタルサインは身体の内側で起きていることを示す重要なサインです。この講義では体温、脈拍、血圧、呼吸などのバイタルサインを正しく測定するために必要となる知識と看護技術について学習していきます。	看護保健系 (看護師)
在宅看護の対象者とその家族を取り巻く問題	その人らしく在宅で生活するために、対象者の生活の場としての地域や在宅を理解し、疾病や障がいがあっても在宅で生活することの意義について解説します。対象者やその家族を取り巻く問題や多職連携・協働、看護専門職としての役割について考察します。	看護保健系 (看護師)
急性期・周手術期にある対象と家族について	急性期は、健康状態の急激な変化に生体が適応するためにさまざまな反応を起こしている時期です。健康状態の変化を引き起こすものとして、準備期間がなく健康状態の急激な変化を引き起こす急病や手術などがあります。何らかの原因で健康状態の急激な変化を起こしている生命の危機的状況にあるその人とその家族についての看護を考えていきます。	看護保健系 (看護師)
皮膚障害のリスクが高い患者の看護	「患者が身体を清潔に保ち、身だしなみよく、また皮膚を保護するのを助けること」は、基本的看護の構成要素のひとつです。皮膚は、低栄養や加齢、オツム着用による湿潤環境等で脆弱となります。皮膚を保護することは看護の基本であり、看護師は、皮膚障害を予防するために、正しい知識と技術を習得する必要があります。本講義では、皮膚障害のリスクが高い患者さんに対する予防的スキンケアについて解説します。	看護保健系 (看護師)

2023年度

出張講義一覧

保健看護学科ー2

講義テーマ	講義内容	分野
老いるということ	人は生まれ出でて、一つ一つ獲得して大人になる様に、時間の経過で身にまとったものを一つまた一つと手放して行きます。誰もがです。健康を失うことも当然あります。健康を損なったときに「〇病のAさん」ではありません。AさんはAさんのままです(例 認知症のAさんではなく)。失ったものはありつつも、Aさんは沢山のできることを残しています。その様なAさんの「生きる」や「病気をもちつつ生きる」を共考え、サポートしていきましょう。	看護保健系 (看護師)
メンタルヘルスについて考えよう（精神看護学）	メンタルヘルス（精神の健康）について学び、精神的な健康、不健康について知ること、自分自身のメンタルヘルスの状態についても考えます。また、精神的に健康な生活とはどのような生活か、どのような支援があれば精神的に健康でいられるのかについても考えます。	看護保健系 (看護師)
子どもの一次救命処置 (小児看護学)	日本では、不慮の事故によって、多くの子どもたちが亡くなっています。子どもの命を救うためには、まず事故が起こらないように予防すること、そして万が一、事故が起きてしまったときには早急に対応することです。この講義では、事故が起こったときの対応の1つである救命蘇生（胸骨圧迫・AED）について、講義と演習を通して学習していきます。	看護保健系 (看護師)
褥婦の理解	出産後の女性を「褥婦（じょくふ）」といいます。傷病者ではありませんが、褥婦や新生児とその家族も看護の対象者です。褥婦は妊娠や出産によって身体的・心理的・社会的な側面が変化しますが、様々な特徴を理解した上で看護を実践することが必然です。今回は急激に変化する2つの身体的特徴について説明をします。また、助産師教育課程の授業も紹介します。	看護保健系 (看護師・助産師)
生活環境及び健康課題の変化と公衆衛生看護の歴史	保健師活動の基盤となる学問「公衆衛生看護学」の成り立ちについて説明します。「公衆衛生看護学」は、社会の中に潜む健康に対する脅威と対峙しながら発展してきました。それは、今も昔も変わりません。そのような保健師の原点について感じ取れるような授業をしていきます。	看護保健系 (保健師)